

緑 蔭

発行所
白鵬女子高等学校
緑蔭会事務局
横浜市鶴見区北寺尾4-10-13
電話 045-581-6721
編集人 青木 早苗
青島 福坂 安口 勝比古
印刷所 デイトナプリント
川崎市幸区都野37-2
電話 044-522-2556

創立90周年を 迎えて

会長 青木 早苗



1936年2月27日、京浜女子商業学校が川崎に誕生しました。

当初2月26日の予定が2.26事件など混乱の中、翌日に認可されたそうです。その後1947年に鶴見の地に移転、1951年に京浜女子商業高等学校に校名を変更、1988年4月より白鵬女子高等学校に校名変更し、2026年創立90周年を迎えることになりました。

90年の歴史を語り継いでくださる諸先輩方も少なくなりまし

た。様々な困難を乗り越え、現在につないでくださった多くの先輩方に感謝申し上げるばかりです。

母校は今、とても元気です。若き乙女たちが世界に羽ばたこうと励んでおります。どうぞ暖かくお見守りください。

90年の歴史を振り返り、設立にあたってご尽力された松本生太先生の思い出話です。1962年、私は中学1年生でした。当時は大口、大船、鶴見の三校合同の催しが行われており、この年は音楽会が開催されました。観客席の最前列は先生方、中学1年生は2列目、私はほぼ中央席でクラスメイトと喜んでおりました。ところが開演直前、大きな分厚い座布団が前の席に置かれたのです。そこへ生太先生が入場。座布団を即撤去させ、「これでは後ろの生徒は見えないでしょう。それだけでなくとも大人が前では見え

にくいのだから。」と声をかけてくださったのです。私たちはそれから生太先生を親しみを込めて「おじいちゃん」と密かに呼びしておりました。

また小雨降り始めた中、運動会のご挨拶に立たれた折、差しかけられた傘を断われ、「お天道様にお願い申します。」と天気の回復を祈ってくださいました。とどうでしょう！うっすらと薄日が差してきたではありませんか。あの時の感動は多くの方々と共に共有できた宝物です。その宝とともに若手にタスキを渡すつもりでしたが、叶いませんでした。もう少しの間、会長として務めますのでよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

昭和42年度卒 旧姓栗原



(2) 令和8年3月3日

同窓会だより

3年間の
歩みを誇りに

校長 玉川匡彦



中庭の桜の蕾も大きくなり始め、日々、穏やかな春の訪れを感じる頃になりました。

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心から、お祝い申し上げます。今日、皆さんがこの学び舎を巣立っていく姿を見届けられることを、教職員一同、心から誇りに思っています。3年間の教育課程を無事修了し、卒業を迎えられたことは、皆さん一人ひとりのたゆまぬ努力の結果です。また、保護者の皆様におかれましては、3年間で成長されたご息女に感慨も一入のことと存じます。ご卒業をお慶び申し上げますとともに、本校の教育活動に多大なご理解とご協力を賜りましたことを深く感謝申し上げます。

皆さんは、令和5（2023）年3月に完成したばかりの白鵬アリーナで入学式を行った最初の学年です。入学式では、真新しい制服に身を包み、これから始まる高校生活に希望を抱きながら、担任の先生の呼名にしっかりと返事をしていました。その年の5月には新型コロナウイルスが5類に移行し、感染症対策の制限が大幅に緩和

されました。皆さんが白鵬女子高校に入学した頃は、かつての日常がようやく戻ってきた時でもありました。

さて、白鵬女子高校での3年間、皆さんは多くの経験を積み重ねてきたことと思います。

学習、部活動、学校行事、海外留学、そして日々の人間関係。思い通りにいかず、悩んだり、立ち止まったりした日もあったことでしょう。しかし、その一つひとつの経験こそが、皆さんを強くし、豊かな人間性を育んできました。困難に向き合い、乗り越えようとする姿勢は、何よりも尊いものです。

また、この3年間で皆さんは多くの仲間と出会い、支え合いながら歩んできました。喜びを分かち合い、時には意見をぶつけ合いながらも、互いを理解し、認め合う関係を築いてきたはずです。3年生になると最上級生としての自覚を持ち、体育祭や記念祭などの行事、部活動や委員会活動において、2年生、1年生を引っ張っていく頼もしい姿が多々見られました。「思い出に残る行事にしたい」「仲間とともに全国大会出場、日本一を達成したい」「最後は後輩たちと楽しみたい」——試行錯誤しながらも、知恵を出し合って前に進むたくましさに感心しました。まさに、「Aim High ～高みを目指して～」を皆さんは体現してくれたと思います。皆さんの背中を見て、きっと1年生、2年生がこの姿勢を引き継いでくれることでしょう。

卒業後、皆さんはそれぞれの道へと進んでいきます。進む道は違っても、皆さんが本校で培った「Aim High ～高みを目指して～」の精神は、どんな環境でも必ず皆さんを支えてくれます。自分の可能性を信じ、失敗を恐れず、挑戦することを忘れないでください。挑戦の先にこそ、新しい景色が広がり、自分でも気づかなかった力が花開きます。もし壁にぶつかったときには、家族、仲間、先生方が、いつでも皆さんの味方であることを思い出してください。皆さんは決して一人ではありません。

白鵬女子高校は令和8（2026）年2月27日に創立90周年を迎えます。多くの先輩方が築いてきた歴史と伝統の上に、現在の本校があります。3年生の皆さんが加えてくれた新たな歴史の1ページを、教職員、在校生一同、大切にしていきます。

最後に、皆さんの未来が希望に満ち、豊かで実りあるものであることを心から願っています。

ご卒業、本当におめでとうございます。



令和8年度入学生の 募集活動を 振り返って

入試広報部長
深瀬 恭一



入試広報部は生徒募集と入学試験の実施を担当しています。本校で行うオープンスクールや学校説明会を始め、全私学展、公私合同説明・相談会など学校外で行われるイベントなどを通じて、中学生・保護者の皆様に本校をアピールし、受験・入学につなげていきます。その他、パンフレット等のツール、ホームページ・LINE・Instagramでの情報発信も行っています。特に今年は、2026年4月に新設する「グローバルJSLコース」を中心として、進学アドバンス、進学スタンダード、グローバルアドバンス、グローバルスタンダード、ダンスアート表現(2025年4月新設)、メディアアート表現、スポーツ、保育・フードコーディネーター(2026年4月改編統合)、総合の計10コースを、多くの中学生・保護者の方々に本校をアピールしてきました。

新設のグローバルJSLコースは、外国籍や海外につながる生徒を対象としたコースです。様々な国から集まった日本語を第2言語とする生徒たちの可能性を伸ばし、大学進学を目指していくコースです。本校は全校生徒約1,100名の1割が外国籍や海外につながる生徒です。多様性がクローズアップされる現代にふさわしいこの

コースから、将来、日本と海外の架け橋となる生徒が出てくることを願っています。

さて、令和7年度は私立高校の授業料無償化拡充をめぐるニュースを耳にすることが多かったと思います。現行の制度就学支援金制度では、年収約910万円未満の世帯を対象に私立高校の授業料に充てるための支援金が支給されていました。支給上限額は年額39万6,000円です。2026年度からは支援対象外だった年収910万円以上の世帯も含め、すべての家庭が支援を受けられるようになり、支給上限額も45万7,000円に拡充される予定です。今年度の募集活動では、この点を特に保護者の方々に説明しつつ、各コースの学習内容、盛んな部活動、充実した施設、豊富な留学制度、そして進学実績など様々な面から本校の魅力を伝えてきました。

一方で、女子校の生徒募集は、依然厳しい状況にあります。神奈川県の中学生の人数は全国的に見ても多いですが、今後は長期的に減少していくといわれています。公立高校では統廃合が行われ、私立高校でも、併設中学校の募集停止、共学化などが毎年のように行われ、このような状況は今後も続いていくものと思われます。

本校は1936年2月の創立以来、女子教育の伝統を守りつつ、常に改革を進めながら、社会で、海外で、スポーツで、様々な世界で活躍できる女性の育成を目指してきました。来年は90周年を迎えます。

これまで諸先輩方が積み上げてきた歴史を感じながら、100周年に向けて本校が更なる発展を遂げられるよう、微力ながら尽力してまいりたいと思います。

辛い努力を積み重ね、 その先へ

進路指導部部長
大堀 英二



3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして保護者の皆さん、進路活動や卒業に向けて支えていただき、ありがとうございました。今年は、猛暑から秋が短く一気に寒くなった寒暖差の激しい一年だったように思います。また稲の不作で米価が高騰し、社会的にも経済的にも騒がしい世の中でした。そのような中、自分を見失わず、コツコツと努力を積み重ね、今年の推薦入試も素晴らしい進路結果を出してくれました。

◎令和8年度入試・合格実績

川崎市立看護大学・早稲田大学・上智大学・立教大学・法政大学・学習院大学・立命館大学・武蔵大学・國學院大学・東洋大学・駒澤大学・専修大学・北里大学・多摩美術大学・女子美術大学・津田塾大学・東京女子大学・立命館アジア太平洋大学・日本体育大学・神奈川大学・関東学院大学・昭和女子大学・フェリス学院大学・鶴見大学・横浜美術大学 他多数
The University of Manchester (UK)・The University of Sheffield(UK)・Queen Mary

(4) 令和8年3月3日

同窓会だより

University of London(UK)・
University of Sussex(UK)・San
Francisco State University
(US)・The University of Western
Australia(AU) 他多数

川崎市立看護大学の合格をはじめ早稲田大学と上智大学3名・立教大学3名・法政大学・学習院大学・立命館大学2名など昨年度に続く輝かしい結果です。国公立・私立の難関大学に挑戦する気持ちが結果につながったのだと思います。英検1級や準1級、そして留学経験、また部活動での輝かしい結果など、失敗を恐れず挑戦した結果が高く評価されています。美術・デザイン系の大学でも多摩美術大学・女子美術大学合格と継続して結果を出しています。また、海外大学の合格もこれから出てくると思いますが、The University of Manchester (UK) は2名の合格が出ています。国内だけでなく、海外にも視野を広げ、さまざまなことに挑戦をしていく結果が、グローバルな将来への可能性とつながっています。

さて、今年受験の特徴として、昨年度の上位大学合格実績がその前年までより大きく伸びた中、今年もそれを超える努力を見せられるかというものでした。先生たちは3年生に対して応援の熱も入り叱咤激励し、周りからは可

能性の期待がのし掛かる雰囲気を感じながらの受験だったと思います。

ここで昨年度の一般入試の状況に触れつつ、今年一般入試についてお伝えします。昨年度の一般入試では、上智大学・青山学院大学・立教大学を始め、東洋大学など今まで多くは合格できていなかった上位大学で57合格することができました。多くの先生の予想を良い意味で大きく裏切ることができた受験でした。

◎令和7年度入試・一般入試の合格実績

上智大学・青山学院大学・立教大学・中央大学・法政大学・学習院大学・成城大学・日本大学・東洋大学・駒澤大学・専修大学 他多数

一般入試の受験生は、一年間いや三年間勉強を中心にした生活でコツコツと苦労を積み重ねていく必要があります。それを自分の糧としてやり切った生徒が希望の難関大学や納得のいく上位大学に合格することができたと思います。今の3年生にもコツコツと勉強の苦労を重ねている生徒がいます。高みを目指して主体的に挑戦してほしいと願っています。コツコツと努力を積み重ね、立派な大人になってください。教員一同、応援しています。

一生懸命

3学年主任

柳瀬 彰良



3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様にも、心よりお祝い申し上げます。

皆さんの3年間の高校生活は、多くの方々の支えがあったからこそ成り立っていました。関わってくださったすべての方々への感謝の気持ちを忘れず、特に一番身近で支えてくれた家族には、ぜひ言葉にして感謝を伝えてください。

皆さんに2つのことを伝えたいと思います。

1つ目は、入学当初、先生から「いろいろな人に応援される存在になってほしい」と伝えていたことを覚えていますか。この3年間で、皆さんは応援される存在になれたでしょうか。応援されるかどうかは、学業や部活動の成績といった結果だけで決まるものではありません。日々の取り組む姿勢、つまり過程こそが大切だと思います。1年生の時の学年目標にも掲げた「謙虚に、素直に、一生懸命」という姿勢は、応援される存在になるための大切な要素です。これから先、辛いことや大変なこともきっとあるでしょう。そんな時、応援してくれる人の存在は大きな力になります。その力を得られるよう、このことを心に留めておいてください。

2つ目は、努力を継続することです。「努力は報われる」という言

入試広報室より お知らせ

お知り合いのご息女で令和8年度中学3年生が
いらっしゃいましたら是非ご紹介ください。

【お問い合わせ】入試広報直通 **045-574-0971**

葉がありますが、努力をすれば必ず報われるとは限りません。しかし、目標を達成した人は、例外なく努力をしています。目標達成に必要な努力は、使える時間や目標の難易度によって異なります。どのような条件であっても、必要な努力を継続できれば、目標を達成できる可能性は高まります。

近い目標、遠い目標、それぞれが目標を持っている人もいれば、まだはっきりしていない人もいるかもしれません。それでも、「将来どのような自分になりたいか」「どのような自分でありたいか」と考えること自体が、立派な目標です。自分の思い描く将来に向かって努力を続けてください。そうすることで、より良い未来に近づいていけるはずです。

最後に、2つの話に共通していることがあります。それは、結果はもちろん大切ですが、結果に至るまでの過程を何より大切にしてほしいということです。思うような結果が得られなかったとしても、努力する中で得た力や経験、出会った仲間や環境は、一生の財産になります。皆さんのこれからの人生が、より充実し、幸せなものとなることを心から願っています。



『晴れ渡った朝』
村田美智子先生より

失敗をおそれずに

3年7組担任
3学年副主任

菱山 士朗



3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。この3年間で大きく成長し、飛躍できた人がたくさんいることでしょう。きっとそこには、大小様々なチャレンジがあったからではないかと思います。私が担当する保健体育科の授業や担任のクラス運営では、「失敗をおそれず、勇気を持って何事にもチャレンジするクラス」という目標を掲げて学校生活を送ってきました。一人ひとりが楽しく高校生活を送り、日々成長していくためにはチャレンジする姿勢が大切だと思うからです。当然のことですが、チャレンジのすべてが成功するはずもなく、むしろ失敗に終わることの方が多かったかもしれません。しかし、大切なことは「失敗をしないこと」ではなく、「失敗をしてもくじけないこと」ではないかと思います。

「失敗は成功のもと」という有名なことわざがありますが、これにはふたつの意味があります。ひとつは「一度や二度の失敗にくじ

けるべきではない」という教え、もうひとつは「失敗してもその原因を追究しなかったり、やり方を改善しようとする姿勢や反省する気持ちが無いと、また同じような失敗をくり返すだろう」ということです。以上が一般的な意味ですが、それが示すとおり、本当に大切なことは勇気を持ってチャレンジすること、失敗してもそこから学んで次のチャレンジに活かすことです。皆さんの今の年齢くらいですとあと10年くらい、あと10回くらいは何か大失敗しても大丈夫でしょう。ただし、そこには前述した前向きな姿勢があつてのことです。その上での失敗であれば、その経験が糧となり、のちの成功に結びついていくはずでです。ですから卒業をむかえたいま、明日からまた色々なことにチャレンジして大きくなってください。そして社会に貢献できる立派な大人になり、いつかまた会える日が来ることを心から楽しみにしています。

最後になりますが、保護者の皆さまにおかれましては、これまで本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜りましたことを、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

そして3年7組のみんな、途中からだったけれど迎えてくれてありがとう。アキレス腱断裂の際は優しいサポートをありがとう。心から感謝します。サッカー部のみんな、素晴らしい感動と興奮をありがとう。君たちの足元に、いつまでもサッカーボールが転がっていることを期待しています。

(6) 令和8年3月3日

同窓会だより



3年間の学び

今年度卒業3年2組

前生徒会長 近野 愛

人生100年時代と言われる現代において、私たちがこの学校で過ごした三年間は、長い人生の中ではほんの一部に過ぎない時間かもしれません。しかし振り返ってみると、この三年間は、自分の性格や価値観が大きく変わり、考え方そのものがガラッと変化した、とても濃密な時間だったと感じています。自由に学び、挑戦することを許され、自分自身と向き合う機会を与えてくれたこの学校で過ごせたことを、心から良かったと思っています。

私たちが入学した頃、社会全体としてはすでにコロナ禍の大きな制限は緩和され、学校生活も以前のような形に戻りつつありました。授業や行事の実施に対して大きな不安はなく、「コロナをほとんど気にしなくてもよい時代」だったと思います。しかし校内を見渡すと、登校する生徒の約9割がマスクを着用しており、感染への恐怖というよりも、見た目が気になる、外すきっかけがない、なんとなくつけ続けているといった理由から、マスク文化が日常として残って

いました。私たちは、時代が前に進みながらも、どこか曖昧な空気の中で学校生活をスタートさせました。

二年生になると、学校行事や活動は比較的スムーズに行われるようになり、クラスや学年で協力する機会も次第に増えていきました。準備の段階では意見がぶつかることも多く、迷惑をかけてしまったことは数えきれません。それでも、話し合いを重ね、試行錯誤しながら一つの形を作り上げていく経験は、簡単には得られない貴重な学びでした。仲間と同じ目標に向かって取り組む中で、人との関わり方や、自分の考えを伝える難しさと大切さを知ることができました。

三年生になると、新たにダンスコースが設立され、学校の雰囲気はさらに大きく変化しました。表現することの楽しさや、個性を尊重する姿勢が校内全体に広がり、自分らしさを肯定できる空気が自然と生まれていきました。今では、廊下を歩くだけで笑顔とすれ違い、挨拶や笑い声が当たり前に見える、温かく居心地の良い環境が築かれています。

この三年間で、私たちは多くの失敗を経験し、そのたびに周囲に支えられてきました。思うようにいかないことや、自分の未熟さに悩んだ日もありましたが、そのすべてが今の自分を形作っています。自由に学ばせてくれ、挑戦を受け止めてくれたこの学校で過ごした時間は、これから先の長い人生においても、確かな土台となるはず

です。支えてくださった先生方、共に過ごした仲間への感謝を胸に、それぞれの未来へ一歩ずつ進んでいきたいと思います。



雲外蒼天

今年度卒業3年7組

硬式テニス部 堀井 姫瑠

私は、小学1年生の頃にテニスを始めました。小学4年生の頃からは全国を目指すようになり、選手コースで練習を重ねました。全国大会に出場できるようになってから、地元北海道は冬に雪が積もって練習が思うように出来なかったり、本州とのレベルの違いが気になるようになりました。その頃に白鵬女子から声をかけて頂き、体験に行くと、恵まれすぎていているくらいの環境に感動し、覚悟を決め、白鵬女子に入学することを決めました。

入学してからの日々は想像以上に大変なものでした。1年生の頃は、急に増えた練習量について行けず、疲労骨折をしたり、足の裏の水膨れに細菌が入って人生初の入院を経験したりしました。また、夏の暑さにもついて行けず、毎日の練習が命懸けだったことを覚えています。その反面、初めての団体戦を経験しチームとして戦うことの楽しさを知りました。

2年生になると環境に少し慣れ、自分のテニスと向き合うことが出来るようになり、悩むことも出てきました。代替わりして、新チームになり、主将を任せてもら

いました。主将になってチームを引っ張る立場になったのに、思うような結果が出なくなってしまう、テニスが嫌いになりそうな時期がありました。そんな時、同期が励ましてくれたり、遠くにいても大きな支えであった家族のおかげで、前を向くことが出来ました。

3年生になると、自分たちの目標である全国大会団体優勝を達成するため、さらに全員で意識高く取り組みました。最後のインターハイはベスト8という結果でした。ベスト4が見えていたからこそ悔しさがありますが、応援は日本一だったと胸を張って言えるチームになることが出来ました。負けたとき、後輩が悔しくて涙を流すくらいチームになったのは大きな進歩だと思います。後輩には更に上を目指して頑張ってもらいたいと思っています。

この3年間で苦しいこと、辛いことも多かったけど、人として大きく成長させてもらいました。思い返してみると、仲間と一緒に頑張る日常や笑いが絶えなかった寮生活は本当に楽しく、一番の青春だったと思います。中学3年生の進路で迷っていたときの自分に、白鵬女子に進学して本当に良かったと伝えたいです。

高校卒業後は大学に進学し、高校で叶えられなかった日本一をもう一度目指すため、競技を続ける予定です。今までお世話になった、家族、米沢コーチ、兼城コーチ、藪中先生、島田先生、安田トレーナーに結果で恩返しができるように、これからも頑張ります。



思い出

昭和56年度卒 畑 理恵
(旧姓:田崎)

このたびは緑蔭会誌への寄稿という貴重な機会を頂き、少し緊張しながら筆を執っています。

貴校を卒業してからあっという間に三十数年の時間が過ぎてしまいました。

緑蔭会誌を拝見するたびに懐かしい先生のお名前に触れ、楽しく読ませて頂いておりましたが、まさか自分が書く側になるとは思ってもおりませんでした。

当時を振り返ってみると高校受験で面接時にお会いした先生が担任となり三年間もお世話になってしまいました。水泳部に入部することになってしまい、仲間と過ごした日々が鮮やかに思い出されます。

休み時間になると職員室に顔を出し、先生方とおしゃべりをしたり、勉強を教えて頂いた事や、部活の仲間と文化祭に参加した事など今となっては楽しい思い出となっております。

卒業後は看護師として忙しい日々の中で、人の命や心に寄り添うこの仕事にやりがいを感じ、水泳部で鍛えられた体力と根性で現在も看護師を続けております。

やがて結婚し、二人の子供に恵まれ、子育てと仕事の両立の忙しい日々を過ごしております。

最近では子供達もすっかり大きくなり、自分の時間が出来ると思っ

ておりましたが、子育てが終わる寂しさも感じている日々です。

最後になりましたが、この誌面を通じて皆さんと再びつながれる事、そして創立90周年をお祝い出来ることも嬉しく思います。

どうか皆様お元気でお過ごし下さい。そして先生、次の号では、他の方々にも「命令」をお願いいたします(笑)



思い出は尽きず

昭和38年度卒 大谷 久子
(旧姓:守屋)

折に触れて、過ぎし日を思い出すことがあります。私にとっての大きな出来事を「今だから話せる話」として語ろうと思う。

世間でいう青春真っ只中のことであった。

私が高三の時、担任はN先生。ある日N先生が真っ赤な顔をして教室の前のドアを勢いよく開けるなり、大声で怒鳴った。

これには理由があった。いつも三年A組ばかりが、先生の仕事のお手伝いに駆り出されていた。先生は、受け持ちのクラスだったので、頼み易かったのだろう。だが、私たち生徒は、「なぜ私たちばかり」という不満を抱いていた。三学年はF組まで六クラスあるのに私たちの組ばかりが使われていたからである。

その日も、校内放送で呼び出しがかかった。しかし私たちは誰も動かなかった。先生は、体育館で

(8) 令和8年3月3日

同窓会だより

待っていたにちがいない。誰も来ないのに腹をたて、前のドアを荒々しく開けて怒ったのである。

私たちは、椅子を体育館まで運んだ。

一人として反逆者はいなかった。クラス全員が、心をひとつにして先生の指示に反抗したのである。

二つ目は、全校生徒による行進の練習が下のグラウンドで行われた日のことである。なぜそうなったか、はっきりとしたことは、わからなかった。が突然一人の生徒が朝礼台の横の地べたに正座させられたのである。練習が終わり、彼女を除く全員が校舎に引き上げても、彼女はそのまま座っていた。許しが貰えなかったのだろうか。私たちは、彼女の心の中を推し測ることは出来なかったが、グラウンドの見える校舎の屋上に居座り正座した。仲間十数名いたように思う。「座禪撤回」と叫ぶ友と一緒にだった。

こちらにも誰に言われた訳ではない。そうしなければいられない衝動で正座し続けたのである。ざらつくコンクリートの上で素足は感覚を失っていった。

その後、どんな指導がなされるのか。先生方のどんな罵声が飛んでくるのかなど、考えもしなかった。

おとがめはなかった。今は、昔の話。何十年経ったとも色褪せることなく、今も私の心に高校三年間は残っています。



デザート世代

昭和50年度卒 宮下 由紀子
(旧姓:持丸)

私が本校を卒業してから丁度50年が経ちました。

高校生活は、たったの3年間でしたが私にとって沢山の事を学び中味の濃い熱い時代だったと思います。授業は、苦手な教科もありましたが学校で過ごす友人との時間が楽しみでした。3年生の運動会で踊った「古城」は一糸乱れず最高の出来栄だったのではないのでしょうか。2年生の東北への修学旅行では寝台列車を経験、3年生の九州への修学旅行のフェリーでは偶然アグネスチャンのイベントに遭遇しました。思い出がいっぱい浮かんできます。

1976年春に社会人としてスタート。配属先に本校の先輩がいて仕事のアドバイス・サポートをして下さいました。

40代半ば子育てが一段落し数年間「推し活」をしてました。入り待ち出待ち、ペンライトを振っての応援、旅行会にも参加しました。再び訪れた青春時代。全てが宝物です。

卒業後本校に訪れたには2023年孫の進路を考える中、学校見学を兼ねて「記念祭」を見にきた時



です。当時の事が思い出され懐かしく校内を回りました。中庭のプールがなくなっていて驚きました。昨年の記念祭では2-3年時の時のクラス担任の栗原(青木)先生にお会いできテンションが上がって一方的にべらべら喋っていました。60代デザート世代まだまだ楽しもうと思ってます。デザート世代とはフルコースの最後のごほうび人生の後半を自由に楽しめる「おいしい時期」の事でイルカさんが使ってます。この言葉が好きなので使わせて頂きました。62歳でピアスをし3年前に「X(Twitter)」の投稿を始めました。多少体調不良や物忘れなどありますが、大きな病気や怪我もなく過ごしてくれました。

皆様もお元気で、そしてまたいつかどこかでお会いできる事を楽しみにしています。

入試広報室より お知らせ

お知り合いのご息女で令和8年度中学3年生がいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。

【お問い合わせ】 入試広報直通 045-574-0971



御縁

昭和50年度卒 松本 由美
(旧姓:窪川)

当時の京浜女子商業高等学校を卒業してから半世紀、高校時代を懐かしく思い出しながら縁あってこの文章を書かせて頂く事にしました。

プールサイドを中心にした素敵な学校で、沢山の思い出があります。電車通学も初めての事で定期を持てたことがとてもうれしかった事を覚えています。

勉強はもう少し頑張れば良かったかなと思いますが、三年間テニス部で自分なりに努力し、多くの友人と楽しい高校生活を過ごさせて頂きました。体育祭で制服のスカートを鉢巻をしてみんなで演舞した「古城」はとても印象に残っています。

今では珍しくなってしまったテトラパックの販売機や、お昼に注文出来た鯨フライは時代を感じさせる思い出です。

今はスマホという文明の利器のお陰で気軽に連絡を取り合える時代となり、高校時代の友人とも交流が深められ、そのお陰でこの原稿を書かせて頂くことになりました。

思えば私は、鶴見駅前にあった病院で生まれました。母の実家の近くでした。今は、縁あって父親の故郷である山梨に嫁ぎました。

この歳になって生まれてからこれ

まで多くの方々との出会いがあり、又、土地との御縁という事も感じ、少しずつ成長させて頂けたと思えるようになりました。

当時、担任をして頂いた旧姓栗原先生が担当されている事を知り、感謝の思いを形にさせて頂きたいと思いました。

「御縁」を大切にし、懐かしの母校へも是非足を運びたいと思います。この機会を頂きありがとうございます。



天国の近藤先生へ

昭和43年度卒 広川 陽子
(旧姓:伊藤)

令和七年七月 恩師近藤欽司先生は突然天国へ旅立たれました。突然の訃報に信じられない思いとなぜという思いで胸がいっぱいになりました。今でも信じられません。ここに先生との思い出を少し綴ってみます。

高校時代の三年間は、毎日毎日卓球の練習の日々でした。でも先生の御指導のおかげで三年生の時、インター杯団体優勝することができました。卒業してからは先生の講習会にも多数参加させて頂きました。又、全日本卓球選手権の解説をされていた時は、試合を見に行った帰りに私の卓球仲間

と一緒に食事をしました。又 味の素スタジアムの見学や毎日新聞社のイベントにも参加させて頂きました。

十数年前に横須賀に越されてからは、卓球仲間に講習会で指導して頂きました。

先生が出版された何冊かの本の中に載せて頂いたりもしました。先生が監督をされていたサンリツの選手達と一緒に先生の家から花火を見ましたね。色々と思ひ出されます。

先生と最後にお会いしたのは、亡くなる十日前でした。神奈川県卓球協会の会長をされていたので、県の百周年記念祝賀会も終わりほっとしていましたね。その時も全国の先方で卒業生と会っていると話されていました。

これからも先生の教えを胸に卓球を続けていきます。

ありがとうございました。



在りし日の近藤先生写真

訃報

近藤 欽司 先生（旧職員） 2025年7月 逝去

～ 謹んでご冥福をお祈り申し上げます ～

(10) 令和8年3月3日

同窓会だより



✿記念祭 開催日: 2025/9/27(土)~2025/9/28(日)✿

2025年度 記念祭に、緑蔭会会長をはじめ、副会長4名が参加させて頂きました。
久し振りに母校の行事に参加、後輩達の一生懸命な姿に接して、とても有意義なひとときを過ごすことが出来ました。

校長先生をはじめ諸先生方、記念祭実行委員の皆様、そして在校生の皆様、
2日間大変お世話になりました。

また、両日 沢山の卒業生(319名)が、ご案内のハガキを手に足を運んで下さり、
【緑蔭会アンケート】にご協力を頂きました。
貴重なご意見を今後の活動にいかして参りたいと思います。

＼ 素敵な1日をどうもありがとう! ／



緑蔭会 受付コーナー



入学希望の中学生の親子様・近隣の皆様方・在校生のご家族



何と!マクロ●解体ショーが。。



吹奏楽部 素敵な演奏でした!

模擬店も大人気
美味しそう!ダンス部
最高の盛り上がり!
立見だわ!

緑蔭会 アンケート結果報告

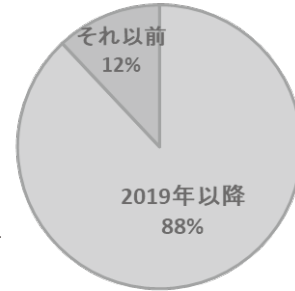
実施期間:2025年9月27日(土)～28日(日)記念祭当日

記念祭にご来場いただいた卒業生の皆さまにアンケートを実施いたしました。
お寄せいただいた声を、今後の緑蔭会の活動と卒業生同士のつながりづくりに
活かしてまいります。

【アンケート回答者】

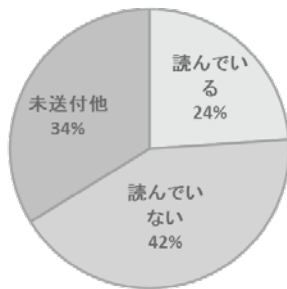
来訪卒業生319名のうち163名が回答(回収率51%)。
回答者の約88%は2019年以降の卒業生で、若手が
中心でした※

※卒業5年目までの卒業生には緑蔭会より、記念祭案内ハガキを送付



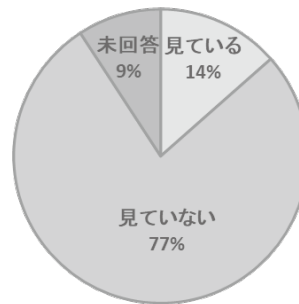
会報「緑蔭」について

「読んでいる」は24%



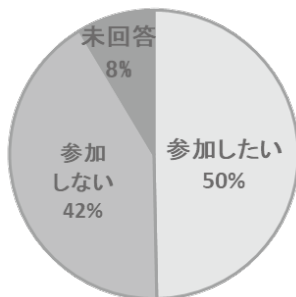
緑蔭会ホームページについて

「見ている」は少数



90周年同窓懇親会※参加意向

「参加したい」が半数



※2026年11月
開催予定

緑蔭会ホームページは
こちらから



【今後の取り組み】

- ・会報「緑蔭」の継続発行(毎年3月)
- ・ホームページで会報・バックナンバー公開および90周年同窓懇親会の告知
- ・90周年を契機に卒業生の交流を促進(若手参加促進・HPからの発信)

(12) 令和8年3月3日

同窓会だより

～ 後輩たちの活躍 ～

陸上競技部

■第78回全国高校総合体育大会
1500m 2位 2年 アカイ メアリー
8000m 2位 2年 アカイ メアリー

■神奈川県高校新人戦
800m 1位 1年 青木 七海
1500m 1位 2年 アカイ メアリー
3000m 1位 2年 アカイ メアリー

■第42回 神奈川県高等学校駅伝競走
優勝 (5年連続17回目)
沼田 (3年) 櫛淵 (1年) 長岩 (1年)
アカイ (2年) 村井 (3年)
区間賞 2区 櫛淵・4区 アカイ

■第34回 関東高等学校駅伝競走大会
優勝 (4年連続6回目)
櫛淵 (1年) 青木 (1年) 村井 (3年)
アカイ (2年) 沼田 (3年)
区間賞 3区村井・
4区アカイ・5区沼田

■第37回全国高等学校駅伝競走大会
(5年連続18回出場)
32位 1時間11分31秒
沼田 (3年) 櫛淵 (1年) アカイ
(2年) 長岩 (1年) 村井 (3年)

バレーボール部

■第31回神奈川県高等学校
バレーボール男女選手権大会 兼
第78回全日本バレーボール
高等学校選手権大会神奈川県予選会
5位

■令和7年度横浜市内高校
バレーボール選手権大会 優勝

■令和7年度横浜地区夏季
バレーボール大会 ブロック優勝

■令和7年度横浜地区秋季
バレーボール大会 ブロック優勝

■令和7年度神奈川県高等学校
バレーボール新人大会
第5位入賞

テニス部

■全国高等学校総合体育大会
テニス競技
団体:ベスト8

鈴木彩葉(3年)・玉木梨緒(3年)
岡田あやめ(3年)・内田千帆(2年)
遠藤寛果(2年)

シングルス:ベスト32

鈴木彩葉(3年)・玉木梨緒(3年)
内田千帆(2年)

ダブルス:ベスト32

鈴木彩葉(3年)・玉木梨緒(3年)

■関東高等学校テニス大会
団体:優勝

鈴木彩葉(3年)・玉木梨緒(3年)
岡田あやめ(3年)・内田千帆(2年)
遠藤寛果(2年)

■全国選抜高校テニス大会
団体:ベスト16

鈴木彩葉(3年)・玉木梨緒(3年)
堀井姫瑠(3年)・岡田あやめ(3年)
内田千帆(2年)・遠藤寛果(2年)
和田夏季(2年)・高橋そら(2年)
三上凛奈(2年)

■全日本ジュニアテニス選手権大会
ダブルス 18U ベスト8

鈴木彩葉(3年)・玉木梨緒(3年)
16U 出場

葛西麗乃(1年)

シングルス 18U 出場

玉木梨緒(3年)

■関東ジュニアテニス選手権大会
ダブルス 18U 準優勝

鈴木彩葉(3年)・玉木梨緒(3年)
ベスト8

和田夏季(2年)・高橋そら(2年)
ベスト16

内田千帆(2年)・遠藤寛果(2年)
16U 準優勝 葛西麗乃(1年)

ベスト32 三上凛奈(2年)
出場 橋本杏里(1年)

小池幸奈(1年)

シングルス 18U

ベスト16 玉木梨緒(3年)

出場 鈴木彩葉(3年)
遠藤寛果(2年)

16U 出場
三上凛奈(2年)・橋本杏里
(1年)・小池幸奈(1年)

■神奈川県高等学校新人テニス大会
団体 優勝

遠藤寛果(2年)・和田夏季(2年)
内田千帆(2年)・三上凛奈(2年)
高橋そら(2年)・橋本杏里(1年)
中嶋歩実(1年)・葛西麗乃(1年)
小形美楽(1年)

シングルス

優勝 内田千帆(2年)

準優勝 遠藤寛果(2年)

ベスト4 三上凛奈(2年)

ベスト8 和田夏季(2年)

橋本杏里(1年)

ダブルス

優勝 和田夏季(2年)・高橋そら(2年)

準優勝 内田千帆(2年)・遠藤寛果(2年)

ベスト4 葛西麗乃(1年)・小形美楽(1年)

ベスト8 三上凛奈(2年)・中嶋歩実(1年)

橋本杏里(1年)・小池幸奈(1年)

■全国選抜高校テニス大会関東地区大会
団体 優勝

→全国選抜高校テニス大会

出場決定

遠藤寛果(2年)・和田夏季(2年)

内田千帆(2年)・三上凛奈(2年)

高橋そら(2年)・橋本杏里(1年)

中嶋歩実(1年)・葛西麗乃(1年)

小形美楽(1年)

柔道部

■第28回関東女子ジュニア柔道
体重別選手権大会 神奈川県予選会
女子78kg超級 優勝 東 桃子

■第3回関東高等学校選抜柔道大会
神奈川県予選会

女子78kg超級 優勝

イバアヌシ黒澤チオマ

■第3回関東高等学校選抜柔道大会
女子78kg超級 第5位

イバアヌシ黒澤チオマ

競泳部

- 令和7年度関東高等学校選手権水泳競技大会
目黒夕梨花（2年）
200m自由形 7位 2:05.54
- 第63回神奈川県高等学校総合体育大会水泳競技大会
目黒夕梨花（2年）
100m自由形 5位 58.02
200m自由形 3位 2:06.45
松波海風（2年）
200m自由形 7位 2:08.10
須藤璃々花（3年）
400m自由形 2位 4:24.16
800m自由形 3位 9:07.63
川島紗波（3年）
800m自由形 8位 9:31.01
200mバタフライ 6位 2:23.09
熊本鈴（1年）
100m背泳ぎ 5位 1:04.97
200m背泳ぎ 4位 2:20.77
4×100mフリーリレー 6位 4:04.64
松波海風（2年）塩澤鼓（2年）
横田莉里明（1年）須藤璃々花（3年）
4×200mフリーリレー 6位 8:46.59
松波海風（2年）長濱波和（1年）
目黒夕梨花（2年）須藤璃々花（3年）
4×100mメドレーリレー 5位 4:26.50
熊本鈴（1年）橋本真友（3年）
川島紗波（3年）松波海風（2年）
- 第8回神奈川県高等学校新人水泳競技大会 女子総合7位
目黒夕梨花（2年）
100m自由形 3位 58.46
松波海風（2年）
200m自由形 6位 2:09.97
400m自由形 6位 4:32.53
熊本鈴（1年）
50m背泳ぎ 2位 30.47
4×50mフリーリレー 5位 1:56.11
杉本瑠々（1年）田中雪花（1年）
永田幸希（1年）熊本鈴（1年）
4×100mフリーリレー 7位 4:11.83
塩澤鼓（2年）横田莉里明（1年）
永田幸希（1年）松波海風（2年）
4×100mメドレーリレー 7位 4:41.56
横田莉里明（1年）長濱波和（1年）
松波海風（2年）田中雪花（1年）

水球部

- 第101回日本選手権水泳競技大会水球競技 ベスト8
3年：河原叶奈、下田茉阿、畠山桜来、本村栞菜
2年：石森愛風、神原色羽、北島悠、近藤みち佳、佐藤紗璃、島崎こなつ、住宮百香、廣谷柚、松原礼依、中島麻緒
1年：駒野未侑、竹川杏珠
- 第48回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水球競技大会水球
白鵬女子高等学校、白鵬Gull wpc
白鵬女子高等学校 ベスト8
3年：斧田真菜、河原叶奈、下田茉阿、畠山桜来、廣瀬渚、本村栞菜
2年：神原色羽、北島悠、近藤みち佳、佐藤紗璃、島崎こなつ、廣谷柚、松原礼依
1年：駒野未侑、竹川杏珠
白鵬Gull wpc
2年：赤岩桃香、猪狩玖唯、石森愛風、住宮百香、中島麻緒
1年：飯川美月、北島堇、畠山楓華、松本汐里、宮澤侑奈、矢内翔羽
- 国民スポーツ大会
ーわたSHIGA輝く国スポー
水球競技水球女子（年齢制限なし）
神奈川県 第7位
3年：下田茉阿
2年：神原色羽、近藤みち佳、佐藤紗璃
- 第18回全日本ユース（U16）水球競技選手権大会
ー桃太郎カップー 第3位
1年：飯川美月、北島堇、駒野未侑、竹川杏珠、畠山楓華、松本汐里、宮澤侑奈、矢内翔羽
- 11th ASIAN AQUATICS CHAMPIONSHIPS AHMEDABAD 2025（アジア水泳選手権）
日本代表 2位
3年：本村栞菜
- 1月以降の予定
3月18日（水）～22日（日）
・第12回全日本ジュニア（U17）水球競技選手権大会ーかしわざき潮風カップー

バスケットボール部

- 神奈川県高等学校春季大会 ベスト16
- 全国高等学校総合体育大会
神奈川県予選会 3位
最優秀選手
チビケ エブベ アナスタシア
- 全国高等学校選手権大会
神奈川県予選会 ベスト8
- 神奈川県U18リーグ戦
1部リーグ女子 優勝
- 神奈川県高等学校新人大会
東支部女子 1位
- 神奈川県高等学校バスケットボール競技
年間優秀選手 和泉 芽生奈

弓道部

- 令和7年度 神奈川県民大会
兼 国体予選会 出場
- 令和7年度神奈川県春季大会
兼 関東大会県予選会 出場
- 第63回神奈川県総合体育大会
兼 全国総体県予選会 出場
- 神奈川大会個人 兼
関東個人大会県予選会 出場
- 神奈川県団体兼全国・
関東選抜大会県予選会 出場
- 神奈川県高等学校弓道
新人大会 出場
- 第15回全国私立高等学校
弓道大会（東京大会） 出場

サッカー部

- 第14回 神奈川県高校総合
体育大会 女子サッカー大会（兼）
全国高等学校総合体育大会
女子サッカー大会神奈川県予選
出場
- 第34回 神奈川県高等学校
女子サッカー選手権大会（兼）
全国高等学校女子サッカー
選手権大会神奈川県予選
出場
- 第32回 神奈川県高等学校
女子サッカー新人大会 出場
- 令和7年度神奈川県高等学校
女子サッカーリーグ
3部リーグ優勝 2部リーグ昇格

(14) 令和8年3月3日

同窓会だより

体操競技部

- 関東高等学校体操競技選手権大会
団体総合
6位 3年 稲葉心美、藤谷友梨奈、1年 上野紗璃
種目別
跳馬 2位 3年 藤谷友梨奈
- 全国高等学校総合体育大会
個人総合 8位 3年 紺田希香
43位 3年 藤谷友梨奈
種目別
跳馬 2位 3年 紺田希香
平均台 2位 3年 紺田希香
- 国民スポーツ大会 少年女子
5位 神奈川県 3年 紺田希香
- 県高等学校体操競技新人大会
個人総合
4位 1年 上野紗璃
7位 1年 中山心寧
種目別
ゆか 優勝 1年 上野紗璃
段違い平行棒
3位 1年 上野紗璃
全国高校体操競技選抜大会
出場決定

新体操部

- 関東高等学校新体操大会
県予選会
個人総合 優勝 佐藤真尋
2位 福井裕紗
3位 田中万智
フープ 優勝 佐藤真尋
2位 福井裕紗
3位 田中万智
リボン 優勝 田中万智
2位 福井裕紗
3位 佐藤真尋
- 全国高等学校総合体育大会
新体操大会県最終予選会
個人総合 優勝 佐藤真尋
3位 福井裕紗
4位 田中万智
フープ 2位 佐藤真尋
3位 田中万智
リボン 優勝 福井裕紗
2位 佐藤真尋
- 県高等学校新体操新人大会
ボール 優勝 田中万智
クラブ 優勝 田中万智
フープ 3位 高橋杏

ボルダリング部

- 令和7年度神奈川県高等学校総合体育大会
スポーツクライミング大会ボルダー
女子団体ボルダー種目 3位
女子個人ボルダー種目 6位
安藤心々愛(3年)
- 令和7年度神奈川県高等学校新人大会
スポーツクライミング大会ボルダー
女子団体ボルダー種目 2位
女子個人ボルダー種目
4位 須村瑠奈(2年)
7位 櫻井瑚子(1年)

吹奏楽部

- 5月 体育祭演奏
7月 第26回横浜吹奏楽コンクール 金賞
9月 記念祭演奏
11月 第26回横浜アンサンブルコンテスト
トランペット四重奏:銀賞
管楽八重奏:銅賞
3月 第13回定期演奏会

吹奏楽部 第13回 定期演奏会

令和8年3月14日(土) 開場 17:00 開演 17:30 ※入場無料

鶴見区民文化センター「サルビアホール」

JR京浜東北線・鶴見線「鶴見」駅 東口から徒歩2分
京急本線「京急鶴見」駅 西口から徒歩2分
シークレイン内

【演奏曲】

- ・ ARSENAL
- ・ およげ!たいやきくん in Swing
- ・ 大いなる約束の大地
～チングスハーン～ 他



■令和6年度 事業報告書

令和7年6月1日

科 費 目	6 年度予算額	6 年度決算額	摘 要
【収入の部】	6,400,410	6,402,744	総収入金額
会 費	3,888,000	3,888,000	324人 × 12,000円
積立金取崩し	0		
雑 収 入	20	2,354	銀行預金の利息等
前期より繰り越し	2,512,390	2,512,390	令和5年度よりの繰越金
【支出の部】	5,151,600	3,733,532	総支出額金額
(本部費)	220,000	159,590	
事務局 費	10,000	0	書式作成費・通信連絡費等
会 議 費	150,000	129,590	会議費(交通費・食事代)
用具備品費	0	0	
本部予備費	50,000	30,000	冠婚葬祭関係・その他
雑 費	10,000		
(事業費)	4,931,600	3,573,942	
生徒会補助費	200,000	200,000	生徒会へ特別補助
体育祭補助費	200,000	200,000	体育祭補助費 生徒会へ
記念祭補助費	200,000	200,000	記念祭補助費 生徒会へ
広 報 費	350,000	709,502	緑蔭会だより製作費(発送費)
積 立 金	1,500,000	0	特別事業費積立(定期預金へ)
部活動支援費	700,000	480,000	部活動全国大会出場補助費
卒業記念品	281,600	284,000	令和6年度卒業生@¥800 352人
予 備 費	1,500,000	1,500,440	白鵬アリーナ用 プロジェクター 手数料
(次期繰越金)	1,248,810	2,669,212	次期繰り越し予定額

■令和7年度 事業予算書

令和7年6月1日

科 費 目	7 年度予算額	7 年度決算額	摘 要
【収入の部】	6,931,212		総収入金額
会 費	4,260,000		355人 × 12,000円
積立金取崩し	0		
雑 収 入	2,000		銀行預金の利息等
前期より繰り越し	2,669,212		令和6年度よりの繰越金
【支出の部】	4,785,600		総支出額金額
(本部費)	220,000		
事務局 費	10,000		書式作成費・通信連絡費等
会 議 費	150,000		会議費(交通費・食事代)
用具備品費	0		
本部予備費	50,000		冠婚葬祭関係・その他
雑 費	10,000		
(事業費)	4,565,600		
生徒会補助費	300,000		生徒会へ特別補助
体育祭補助費	250,000		体育祭補助費 生徒会へ
記念祭補助費	250,000		記念祭補助費 生徒会へ
広 報 費	900,000		緑蔭会だより製作費(発送費)等
積 立 金	1,500,000		特別事業費積立(定期預金へ)
部活動支援費	600,000		部活動全国大会出場補助費
卒業記念品	265,600		令和7年卒業生@¥800 332人
予 備 費	500,000		
(次期繰越金)	2,145,612		次期繰り越し予定額

(16) 令和8年3月3日

同窓会だより

会員各位

令和8年3月吉日

旧・京浜女子商業高等学校
白鵬女子高等学校
緑蔭会会長 青木 早苗

同窓懇親会のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、母校も京浜女子商業高校から白鵬女子高校へと校名が変わりましたが本年創立90周年を迎えました。これを機にぜひ同窓会をとの声に、年代を越えて親睦を深めるべく次のように懇親会を開催することとなりました。

旧師、現職の先生方にも多数ご出席いただく予定ですので、どうぞ皆様お誘い合わせのうえ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

日 時 令和8年11月22日(日) 午後1時より

会 場 ローズホテル横浜

〒231-0023 横浜市中区山下町 77 番地

☎ 045-681-2914

会 費 10,000 円 口座番号 00220-0-118567

口座名称 青木早苗

会費は7月10日までに郵便局へお振込みください。払込手数料はご負担ください。会費の振込みをもって出席のお返事とさせていただきます、後日詳細をお知らせいたします。 会費の返金をご容赦くださいませ。

なお、このご案内が届いていないご友人の方には学校事務局又は青木までご請求くださるようお願いいたします。

〒230-0074
横浜市鶴見区北寺尾 4-10-13
白鵬女子高等学校 緑蔭会事務局
☎ 045-581-6721

〒224-0029
横浜市都筑区南山田 2-7-22
青木 早苗
☎ 045-594-0847
*午後7時～午後10時にお願いします。